

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3149911号
(U3149911)

(45) 発行日 平成21年4月23日 (2009. 4. 23)

(24) 登録日 平成21年4月1日 (2009. 4. 1)

(51) Int.Cl.

E O 5 B 49/00 (2006.01)

F I

E O 5 B 49/00

R

評価書の請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全 4 頁)

(21) 出願番号 実願2008-5775 (U2008-5775)
(22) 出願日 平成20年7月22日 (2008. 7. 22)

(73) 実用新案権者 508064252

玉井 康夫

京都府京都市東山区大和大路通り五条上が
る山崎町 3 6 6

(72) 考案者 玉井 康夫

京都府京都市東山区大和大路五条上が
る山崎町 3 6 6 番地

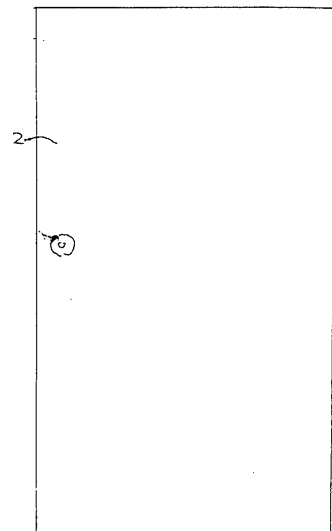
(54) 【考案の名称】 静脈圧センサーのドアの開閉装置

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 マンション、アパート、における不法侵入者の侵入防止を図ることができるドア開閉装置を提供する。

【解決手段】 マンション、アパートのドア 2 付近に静脈圧センサー 1 を設置し、該静脈圧センサーにて、本人確認をしてから、ドアのロックを解除し、手動にてドアの開閉をおこなう。

【選択図】 図 1



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】

マンション又は、アパートのドアの開閉における静脈圧センサーを使用して、本人の確認を行い不審者の侵入を防ぐ目的の装置。

【考案の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本考案は、静脈圧センサーを用いてドアの開閉時の本人確認をする装置である。

【背景技術】

【0002】

マンション、アパートの不審者侵入防止のため、ドアの開閉時の本人確認を行う。

【考案の開示】

【考案が解決しようとする課題】

【0003】

マンション、アパートにおいて、不審者の侵入防止。

【課題を解決する為の手段】

【0004】

本考案は、マンションやアパートの出入り口に静脈圧センサーを設置ドアの開閉を行い、不審者の侵入を防止する。

【考案の効果】

【0005】

本考案は、不審者の侵入防止。

【考案の実施するための最良の形態】

【0006】

本考案の実施にあたり、入居決定時に静脈圧センサーに対する、指の登録をする必要がある。

【実施例】

【0007】

マンション、アパートのドアの開閉時に静脈圧センサーにて本人確認をして、ドアの開閉を行う。

【図面の簡単な説明】

【0008】

【図1】 本考案の静脈圧センサー及び、ドアの正面図である。

【符号の説明】

【0009】

1 静脈圧センサー

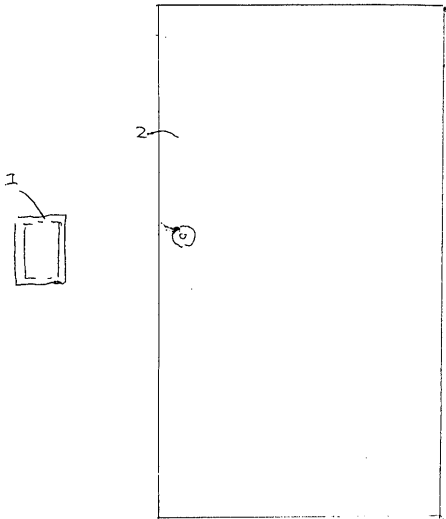
2 ドア

10

20

30

【図 1】



【手続補正書】

【提出日】平成20年10月8日(2008.10.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】実用新案登録請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】

マンション又は、アパートのドアの開閉における静脈圧センサーを使用して、本人の確認を行い不審者の侵入を防ぐ目的の装置。

形状としては、銀行で使用されている A T M の静脈圧センサー、縦 7 ～ 1 0 センチ、5 ～ 6 センチの物を使用する。

構造的には、本人確認時には、青ランプにて表示、本人の確認がとれない場合は、赤ランプにて表示する。

【手続補正書】

【提出日】平成20年12月20日(2008.12.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】実用新案登録請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】

マンション又は、アパートのドアに静脈圧センサーを設けた静脈圧センサーのドア開閉装

置